

LECTURE & EVENT

めでたきとり 講演会&イベント情報

LECTURE 01 講演会 「愛知の鳥だより」

講師：加藤 博俊氏
(環境省自然公園指導員、愛知県文化財保護指導委員)
日時：5月11日(土)14時～15時30分
定員：70人【事前申込制】
申込締切：4月21日(日)

LECTURE 02 講演会 「近江八景の成立と展開 ー落雁モチーフに注目してー」

講師：大原 由佳子氏
(文化庁文化財第一課美術工芸品公開促進調査官)
日時：5月26日(日)14時～15時30分
定員：70人【事前申込制】
申込締切：5月5日(日)

LECTURE 03 展示説明会

講師：永井 優香子(当館学芸員)
日時：4月28日(日)14時～15時30分
定員：50人(当日先着順)

LECTURE 04 学芸員によるギャラリートーク

日時：5月3日(金・祝)、5月14日(火)
各日とも11時～11時30分(申込不要)

申込方法

事前申込制のイベントは、当館受付で申込用紙にご記入いただくか、必要事項を記入してFAXもしくは郵送(締切日必着)でお申し込みください。愛知県刈谷市電子申請・届出システムでも申し込みを受け付けております。申込用紙は、当館ホームページでもダウンロード可能です。申込多数の場合は抽選、空席がある場合は当日先着順とします。

このマークのある講演会・イベントには、企画展チケットが必要です。

相互割引 刈谷市美術館 tel.0566-23-1636 「new born 荒井良二」4/20(土)～6/15(土)
■めでたきとり展のチケット(半券可)の提示で、当日券が200円引きになります。
※チケット1枚につき1名1回限り有効 ※各種割引との併用不可

刈谷市歴史博物館 KARIYA city Museum of History

ACCESS

公共交通機関▶JR東海道本線「逢妻」駅・名鉄三河線「刈谷市」駅から徒歩15分、刈谷市公共施設連絡バス「かりまる」で刈谷市駅から10分、逢妻駅南口から5分(「刈谷市体育館」下車徒歩約3分) お車▶伊勢湾岸自動車道「名古屋南インター」、「刈谷スマートインター」または「豊田南インター」から約20分



QRコードはデンソーウェブの登録商標です。



EVENT 01 イベント ふれあい体験&記念撮影

フクロウなどの鳥とふれあうことができます。
日時：5月19日(日)10時～16時(内、1時間休憩)
協力：移動動物園アクティブ
参加費：無料
※小学生以下の子どもは、保護者(高校生以上)の同伴が必要です。(保護者1人につき、小学生以下2人まで)
【株式会社 育空/移動動物園・アクティブ/愛知県新城市一瀬田中44番1/展示/動東第407号/〒27.2.9/R7.2.8/豊田 美春】

EVENT 02 【親子参加型イベント】 ちりめん押絵風オーナメントづくり

鳥をモチーフにした布のオーナメントを作ります。
講師：当館職員
日時：5月6日(月・祝)14時～15時30分
定員：10組20人【事前申込制】
参加費：1組700円(企画展チケット1枚付)
※1組で2個以上制作も可能です。(追加料金:制作キット1個200円)
※チケット割引対象外
申込締切：4月14日(日)
※大人のみ参加も可能ですが、抽選の場合は親子で申込みされた方を優先させていただきます。

EVENT 03 クイズラリー

全問正解で限定のオリジナルグッズをプレゼントします。
日時：会期中

EVENT 04 フリートークデー

声の大きさを気にせず鑑賞できる日です。作品について自由に話しながら鑑賞いただけます。※通常の開館日のお客様同士の会話を制限するものではありません。
日時：4月30日(火)、5月6日(月・祝)、19日(日)

EVENT 05 愛鳥週間+国際博物館の日イベント 愛鳥週間ポスター原画展

愛鳥週間と5月18日の国際博物館の日を記念して、愛鳥週間の優秀賞に輝いたポスターの原画を展示します。また、オリジナルグッズを先着100名様にプレゼント。
日時：5月10日(金)～5月19日(日)

開館5周年記念企画展



令和6年4月27日(土)▶
6月9日(日) [前期] 4月27日(土)～5月19日(日)
[後期] 5月21日(火)～6月9日(日)

【開館時間】9時～17時(チケット販売は16時30分まで)

【休館日】毎週月曜日(4月30日、5月6日は開館)、5月7日(火)

【観覧料】一般600円、中学生以下無料

※身体障害者、精神障害者保健福祉、療育の各手帳所持者及び付き添いの方(1名)は入場無料。入場の際、手帳をご提示ください。(ミライロID可)



刈谷市歴史博物館 KARIYA city Museum of History

〒448-0838 愛知県刈谷市逢妻町4丁目25番地1
TEL.0566-63-6100 FAX.0566-63-6108
URL: https://www.city.kariya.lg.jp/rekihaku/

MEDETAKI TORI

有料展



刈谷市の市章は、「雁」と「8」をモチーフとして図案化されています。この「雁」を題材とした絵画や工芸品は数多く存在し、古くから人びとに愛されてきた鳥であることがわかります。

本展では「雁」を主軸とし、刈谷・愛知にゆかりのある鳥を表した美術工芸品を通して、この地域に棲息する鳥たちを紹介します。

また、令和6年は刈谷市歴史博物館開館5周年の節目の年にあたるため、祝賀のモチーフとしてよく用いられる鳳凰や鶴の作品についても展示します。

第一章
季節を告ぐ雁

「雁」は古来、秋を告げる鳥として知られ、そのなかでも「芦に雁」の取り合わせは古くから知られていました。秋の寂しさを表現するモチーフとして、広く愛されてきたのです。雁がどのように表現されてきたのか、作品を通して紹介します。

秋月等観《芦雁図》
(慶應義塾[センチュリー赤尾コレクション]蔵)



第三章
百鳥繚乱

鳥をはじめとする動物は、その作品がつけられた目的によって、描かれ方が大きく異なります。ここでは図鑑のように正確に特徴をとらえたものや、子ども向けの浮世絵など、吉祥や愛玩という観点から離れた作品を紹介します。



二代歌川国虎《新板鳥づくし》(公文教育研究会蔵)

MIEDA ETAKI TORI

プロローグ
祝いに添う
鳳凰と鶴

文化面において、中国から強く影響を受けた日本は、喜ばしいことを寿ぐ吉祥のモチーフにおいても、その影響を色濃く受けました。ここでは、代表的な吉祥モチーフである伝説の鳥・鳳凰と長寿を祝う鶴を取り上げ、「めでたきとり」を紹介します。



栗田真秀《旭日双鶴図》(桑名市博物館蔵)

第二章
刈谷・愛知
ゆかりの鳥

鳥は古くから、さまざまな美術工芸品に表されてきました。そのなかには、この地域に棲息する鳥をモチーフにした作品も多く存在します。ここでは、刈谷市あるいは愛知県内にゆかりのある鳥を取り上げ、どのように描き出されてきたのかを紹介します。

伊藤若冲《鳥鷺図》
(慶應義塾[センチュリー赤尾コレクション]蔵)



エピローグ
身近な鳥を
愛でる

最後に、現代に生きる私たちもよく知っている鳥の作品を紹介します。

私たちが普段目にする鳥を、意識して生活することはあまりありません。しかし、美術工芸品にはそういった日常に溶け込む鳥を取り上げたものも多く、作者が身近な鳥をつぶさに観察し、細やかに表現してきたことがうかがえます。

あらためて、私たちの周りにいる鳥を「愛でて」みませんか？



仁阿弥道八《雀香合》
(東京国立博物館蔵、Image:TNM Image Achieves)

単衣 紫緋地流水芦雁模様[部分]
(東京国立博物館蔵、Image:TNM Image Achieves)

単衣 鉄藍緋地冬田に落雁文様[部分] (京都国立博物館蔵)